



あさぎ町

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

No.67
R3年.5.6発行

あさぎ町議会

検索

通年議会 第11・12・13回会議

一般会計当初予算 2～7P
一般質問 10～20P
常任委員会・一部事務組合報告 ... 21～23P

令和3年度

一般会計当初予算

110億531万円*

前年度当初予算と比較すると1.2%増

【令和3年度一般会計当初予算の内訳】

歳入の内訳

自主財源（25.7%）28億3,126万円

- ・町税（10.5%）11億5,771万円
町民税、固定資産税、市町村たばこ税など
- ・繰入金（7.2%）5億2,480万円
基金繰入金
- ・繰越金（2.7%）3億円
- ・諸収入（1.1%）1億1,758万円
- ・分担金、負担金、使用料、手数料
財産収入など（4.2%）4億6,754万円

依存財源（74.3%）81億7,404万円

- ・地方交付税（38.9%）42億8,408万円
- ・地方債（9.0%）9億8,560万円
- ・国庫支出金（12.5%）13億7,363万円
- ・県支出金（10.0%）11億507万円
- ・地方譲与税、地方消費税交付金、
ゴルフ場利用税など（3.9%）4億2,566万円

歳出の内訳

- ・議会費（0.9%）1億256万円
- ・総務費（14.9%）16億3,937万円
総務管理、税務、住民基本台帳、統計調査費など
- ・民生費（30.6%）33億6,318万円
社会福祉、児童福祉費など
- ・衛生費（7.6%）8億3,283万円
保健衛生、清掃費など
- ・農林水産業費（7.6%）8億3,379万円
農業、林業、水産業費など
- ・商工観光費（2.6%）2億9,049万円
商工、観光、定住促進費など
- ・土木費（8.7%）9億5,725万円
土木管理、道路橋りょう、住宅、下水道費
- ・消防費（4.0%）4億3,489万円
- ・教育費（11.5%）12億6,625万円
小・中学校、生涯学習、文化財、保健体育費など
- ・災害復旧費（0.2%）1,666万円
- ・公債費（11.4%）12億6,004万円
- ・予備費（0.1%）800万円

◆令和3年度当初予算額一覧◆

一般会計

..... 110億531万円

国民健康保険特別会計

..... 20億9,576万円

後期高齢者医療特別会計

..... 2億2,081万円

介護保険特別会計

..... 19億8,621万円

水道事業特別会計

..... 7億2,233万円

下水道事業特別会計

..... 10億4,583万円

球磨郡障害認定審査事業特別会計

..... 662万円

球磨郡介護認定審査事業特別会計

..... 3,583万円

※水道会計及び下水道会計は収益的支出と資本的支出の合計

一般会計当初予算への質疑(抜粋)

総務建設経済常任委員会所管課分

(総務課・会計課・企画財政課・農業委員会・農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課)

問 定員管理計画の中で今回、課の変更もあるが職員の人事配置は

答 当初予算の編成した各課にそれぞれ職員を配置している。

問 現在消防団員は約580人在籍している。火災時、隣接地点の消防団員の出動はどのようになっているか

答 消防団については分団、部、班というふう組織されており、管轄する区域はきっちりと決まっているが緊急時の対応については消防署、消防組合との協議を進めていく。

問 地域支え合いのマップづくりが現在10地区で実施されているが、全地区早急に取り組んでいただきたいが

答 支え合いマップと地区の防災計画は、地区の住民を守る両輪。一緒につくり上げていかなければならないと考えている。

問 光ファイバー設備保守委託料で性能検査の項目はどういうものをしているのか

答 老朽化について、10年経過すると国が示す光関係の整備については、補助の対象か

ら外れるということ、事業者と協議を進めているところ。ご指摘の件については、報告内容を確認して今後の備えとしたい。

問 鳥獣駆除隊の後継者育成は

答 現状では見通しはたっていない。年に数名、新たに取りたいと申請がある。今、現在は後継者として少ない数で対策を検討していかなければならない。

問 平地に及ぶ鳥獣被害に対して、捕獲だけではなく追いつための補助等の考えは

答 町では防護柵の設置に対する補助金がある。また、中山間直接支払制度の資金を活用して、鳥獣害対策に取り組んでいる集落もある。しかし、平地におけるシカやカラスの被害には決定的な対策はないので、今後検討していきたい。

問 農業支援センター運営補助金の内容は。またこの補助金は、ふるさと振興社との統合に伴い、今年までの補助金なのか

答 労務員1名の増員と大型特殊免許等免許取得の増額分、それと従来通りの運営の負担金となっている。次年度以降については、その統合の内容を詳細に詰めていく中で協議する事になる。

問 農業経営診断委託料1,600万円の予算案、昨年はたばこ農家が多かったが今年の具体的な施策は

答 30名程度を考えており、バランスをとりながら自ら手を挙げられた方ということで実施していく。

問 木材の伐採面積に対する町の指導はどうなっているのか

答 私有林については、伐採届が提出され町が許可を出している。近年の豪雨等で土砂流出等の可能性がある場合は、注釈的なものを付けて許可を出している。

問 商店街の街灯は環境省のLED化照明導入化促進事業と一緒にやるのがいいのでは

答 建てる場所の問題、土地の交渉が必要となるので商工会と協議して考えたい。

問 新商品開発にふるさと振興社の役割が非常に大きいものがあるので、力を入れていただきたいが

答 あさぎり町内だけでは町の課題を解決できない。やはり外からの人材を入れて職場の待遇改善もしながら、職員の意欲を上げて頑張っていきたい。

問 樋門管理の非常時の操作マニュアルは

答 樋管樋門操作員の操作マニュアルは、毎年操作員が集まり講習会等を行っている。

問 7月豪雨で甚大な被害を受けた川瀬地区にポンプ場を設置するとか、県や国に要望を再度続けてもらいたい

答 国や県に永久的に安全な防災減災につながるような施策と、樋門操作についても今後の災害時のマニュアルをしっかりと説明していただくようお願いしたい。

問 公園費の中でおかげ公園の遊具の充実について検討されたのか

答 更新とか増設については検討できていない。



水道事業特別会計予算

問 竹野地区にある、緊急時給水地借上料は、土地代だけなのか

答 今回は賃貸借料だけで、メンテナンス代等は計上していない。

問 過疎債を資本費平準化債に借り換えた場合、結果的に財政負担が増えるのでは

答 それが、下水道料金の値上げにならないよう、新年度で経営戦略を策定していく。

厚生文教常任委員会所管課分

(税務課・町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課・教育委員会)

問 固定資産税の高額滞納について、予算策定までの徴収額と、滞納繰越分に対する対策は

答 年度途中で回答することはできないが、差し押さえ財産等が発見できれば換価するというのと、個別に納税相談等を行い少しずつでも納付していただくように努力していく。

問 租税教育表彰者の商品代として額縁1,000円と説明を受けたが、作文とか習字とは別に、あさぎりオリジナルのイベントを行いお金とは別に報償費を検討できないか

答 税について子供たちに知ってもらう意味で、町独自の活動というのも有効ではないかと考える。

問 あさぎり町の指定ごみ袋で、全部のサイズで持ち手をつけてもらえないかという要望を聞くが

答 条例等の改正も必要

で、デザイン変更にも費用がかさんでいくということと、中サイズは出ていく数が少ないので今のところ考えていない。

問 個人番号カード交付事業について厚労省から健康保険証との連動ということが出ています。あさぎりの令和3年度の取り組みはどうなっていくのか

答 3月から順次病院の体制が整えば健康保険証として利用ができていく。マイナンバーカードの普及については、広報やホームページで申請の促しをしていく。

問 高齢者は、町民課の窓口・支所等に行くことが簡単でないが、マイナンバーカード普及のため

にどのようにやるのか。八代・熊本のショッピングセンターへ行くと、職員がマイナンバーカード取得のイベントをやっているところを見かけるが

答 高齢者はスマートフォンとかを使つての申請というの

は、支所でもできるというのを伝えていく。受け取りについては、本人受取りとなつており専用の端末が町民課の中に1台だけあるということ

で、本人が役場まで来なければならぬのが現状である。申請については、昨年イベントがすべて中止となったが、出張での申請も一つの方法かと考えている。

問 デマンドの補助金の件で、地域間の利用の偏在があるのかという原因分析の3年度予算なのか。公立多良木病院への

乗り入れに関してはどのようになっているのか

答 統計上多いのは上地区、岡原地区については登録も利用も少ないと感じる。原因としては、経済圏が多良木であったり、現役で働いている方も多いからと感

じる。多良木町役場と協議している。その後あさぎり町の地域公共交通会議を計画し、多良木町の意見等も聞いて検討していく。

問 病後児保育の負担金が公立多良木病院にということとで今まで継続していた。来年から病後児補助金として一元化するということだが、その経緯について

答 病児病後児保育については、公立多良木病院で4力町村合同で開設されていて、負担金については4力町村で支払いを進めている。病後児保育事業については、昨年からあさぎり町内のこども園から病後の保育をしたという申請が上がっていた。

問 公立多良木病院の事業とどこが違って財政負担が伴う事業にゴーの判断をしたのか

答 今回の病後児保育については町内で初めての

申請だったということ、場所的にも町内なので利用も見込めるのではないかとということが取り組んだ経緯ということである。

問 老人クラブの補助金の減は、会員の減少によるものか

答 繰越金の関係が1点あり、補助金審議会の中で審議をされ、その中で19万3,000円の減の220万円で計上させていただいた。

問 スマートウェルネス指定事業費の健康教室の件に関して、1期生の募集人員がどのくらいあったのか。2期目は、1期生の人がまた申し込んでいいのか

答 1期生の募集のときは、医療機関からの紹介等もあり130人ほど募集があったいるが最終的に98人で参加いただくことになった。1期生の方は、今度ヘルシーランドで自主トレーニングという形でしていただくことで、2期目は別の人を募集したいと思うている。

問 地域活動支援センターは町内だけのセンターを意味しているのか。巡回相談支援は専門家が行っているのか

答 地域活動支援センターは町内の事業所「あすなり」に事業委託を計画している。巡回相談支援は、4力町村で順番に巡回するので社会福祉士などが各こども園とか保育園、小学校等を訪問している。

問 ヘルシーランドとデマンド交通は利用料金制度で指定管理を行っているが、その内容を点検する必要があるのか

答 ヘルシーランドは指定管理が残りの1年で、プロポーザルの中でどういう契約で運営がされたのかしっかりチェックしながら今後の指定管理を決める時の参考にしたい。デマンド交通はどういう取り決めがなされているのかも含めてよく検討したい。

問 あさぎり中学校グラウンド整備時には、5年後位から費用はあまりかからないという説明だったが、100万円の委託料は直営ではできないのか

答 芝管理徹底の要望もあり、学校敷地が非常に広くなかなか手が回らないため、芝管理を一部外部発注している。

問 小中学校の特別支援員の増員についての内容と、35人学級が実施されるがその対応は

答 35人学級への対応は今後問題なく進められる。文科省の推計では、通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒が約6%存在しているということで、それに基づき今回の各小中学校の特別支援員配置計画を行った。

問 タブレット整備等に伴う経費増に見合う活用対策は。また、デジタル化教育においてもアナログ的な視点も必要だと思うが

答 未来の創造プロジェクト

での研修等を通して先生方のスキルを上げていきたい。

答 デジタル教育を進めていく根底で、人格の形成を教職員一人一人が自覚しながら教育活動に取り組んでいきたい。

問 各学校の教科によつては、全国平均の学力以下のはどのようになら平均以上に持っていくのか

答 次年度も徹底した学力の向上、授業の工夫改善を図りながら教師としてのプロ意識を向上させ学力向上に取り組んでいく。

国民健康保険特別会計予算

問 2,500万円の基金繰り入れとなっているが、内部的にルール化されているか

答 平成30年に国保が県単位化になった折に、当時の基金残高が5億円超えていたもので、その際に県も県単位化に伴って基金を設けた。医療費が不足する分には不

足、医療費が高騰し支出が困難になった場合は、県の基金から繰り入れを行うことができるようにした。

問 国民健康保険税は県下でも高い方だと言われるが、近隣町村と比較の場合どれぐらいにランキングされるのか

答 あさぎり町が高いと言われるのは、保険税総額を被保険者数で割った平均数を出したものの、高額所得者が多いがゆえに平均すると高くなる。実際同じ所得、同じ家族構成で計算をしたところ人吉球磨管内では真ん中より下になった。



総

括

質

疑

問 消費生活相談委託事業はどのような活動がされているのか

答 相談員が人吉市に4名。相談会は弁護士・司法書士等をお願いして年2回の開催。あさぎり町の相談件数は年間平均で35件ほど。

問 小学校・中学校において置き勉についてはどのような指導がなされているのか

答 各小中学校に荷物、ランドセルの重さと各教科書の平均的な重量などについて調査をしておりその結果をもって指導指針を定めている。

問 公営住宅について、Uターン・イターンなどの人材が住まいを確保し地域に定着できるような募集が必要ではないか

答 公営住宅法もあり同居の親族がおられないと原則独居では入れない。

答 民間のアパート等の利用促進もあるので、町が住宅手当を一部負担するような手段や、空き家の活用も考えたい。

問 公立多良木病院の繰入金に関して、本来の総務省繰出し基準ではどうなっているか

答 県内ほとんどの公立病院では100%の繰り入れがなされており、公立多良木病院については平成30年度で53%と説明を受けている。

答 人吉医療センターと公立多良木病院の医療連携により、人吉球磨の医療を守る取り組みも協議されている。

問 独立採算が原則である公営企業に対する一般会計からの繰り出しを、公共性を考えた時にどこまでやるのが課題だが

答 将来のシミュレーションをしっかりとやり町の財政

に大きな負担にならないよう見定めていきたい。

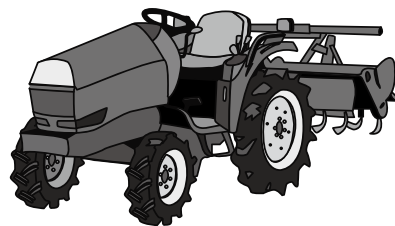
問 清願寺ダム湖の浚渫^{しゅんせつ}を約20億円近くかけて行ったが、7月豪雨での土砂・流木等の流入により又第2ゲートの開閉ができなくなった。ダム上流での大規模伐採などの土砂流入への対策の指導は今後どうされるか

答 林野庁などによる伐採地作業道の水管理等の研修会が行われ、森林組合はじめ事業所は勉強会を重ねて対応されている。



問 農業機械設備に対する補助金の要件見直しの内容は

答 法人の余剰金等が1,500万円以上という設定が厳し過ぎるということと、組織が受託作業を行われている状況を考慮して採択をしたい。



問 人吉球磨観光地域づくり協議会の事業内容は。復旧復興途上であるが、事業もできるところはやってほしいが

答 あと2年間で、観光地域づくりの会社を法人化し、くま川鉄道の復旧と黒字化に向けて沿線の観光地域づくりも連携してやっていかなければならない。

令和3年度あさぎり町水道特別会計予算

問 公営企業運営協議会委員に、専門の知識やノウハウを持ち分析できる人を入れるべきではないか

答 企業経営、企業会計の専門家をアドバイザーとしてお願いしていきたいと考えている。

問 経営戦略を練る時に、独立採算を目指していく際に水道料の値上げという考えがあるのか

答 令和9年度くらいで単年度赤字が見込まれており、料金改定はある時点では避けて通れないのではないかと。

問 水道料金値上げを先送りとか、上げ率を下げることを戦略で練れることは考えられないか

答 収入の減少は想定されているので、財政シミュレーションを経営戦略でつくり上げていく。

令和3年度一般会計予算案に対する修正動議



令和3年度一般会計予算案に対する修正案が小谷議員他2議員から提出され、審議の結果賛成少数で否決となりその後原案が賛成多数で可決された。

修正案の内容と審議の概要は以下のとおり。

- ①旧深田中校舎並びに旧免田中・岡原中プールの解体設計委託料1,580万円の減額
- ②農業経営診断委託料1,600万円の減額
- ③公民分館建設の基本設計費1,087万7千円の減額

質 疑

問 農業経営診断委託料を全額削除すれば、診断を受けた農家の追跡調査や伴走型支援もできない。また、診断を受けた若手農家の意識も変化しており、若い人の芽を摘む事になるのではないか。

答 データー集積分析結果は町に提言してあるので、その後の支援は町で対応できる。また、継続して行う事業に対しては、いったん立ち止まり検証を行うべきである。

問 公民分館設計委託料の削減は、将来の区の統合を見据え、また防災面からの一時避難所として利用することになれば規模、設備も従来とは違ってくる。3年度建設予定の2地区住民に対して基本設計図が無ければ、説明もできず全く話が進まないことになる。

答 これまでの経緯の中で、公民分館建設の1割負担の補助事業は現存している。一方、区の統合とか共同利用の話や補助率の見直しも出てきている。制度を整理してからでないで地区住民は何を基準に判断したらいいのか混乱する。

問 旧中学校プールの解体や旧中学校の校舎解体等は公共施設総合管理計画に記載されている事業であり、平成23年に中学校が統合して、これまで放置してきた施設である。有利な合併特例債が使える時に事業を行った方が、住民の負担は少なく済むのではないか。

答 公共施設の個別計画は議会に特別委員会を設置し審議中で結論が出ていないので、コロナ対策を優先的にやるべきである。当初予算で行うだけの優先度は低い。

討 論

修正案に反対

- ・将来的に農業振興のデータになり、ひいては球磨農業の基盤の底上げになる。若い経営者には、この診断業務の期待も多い。
- ・コロナ対策・豪雨対策について、あさぎり町はしっかりやっている。未来のあさぎり町を考え、これらの事業も同時進行でやっていくべきだ。
- ・合併当時から遊休の不要資産について議論がなされ、20年ばかり先送りしてきた。次世代までこの議論をしていくことは、時間と財源の無駄になる。
- ・合併特例債というのは将来の財政負担を軽くするためのものであり有効活用すべきだ。

修正案に賛成

- ・農業経営診断は専門性の高い機関に情報収集・分析などを任せて、その上で協議を進めていくことにより多額な経費は要しない。
- ・総額1,600万円、一軒の農家あたり約50万円という多額の予算をかけての経営診断は、費用の面から甚だ疑問。公表されている農水省の経営診断プログラムなどにより、高額予算をかけなくても農業の振興・活性化を図ることは可能。
- ・公民分館整備は、他の地区においても不公平感や不満が出ないように慎重に行うべき。
- ・個々の案件に反対とかではなくて、財政の見直しなどをもう少し見極めるための時間が必要だ。

第 11 回会議

1月29日(金)

補正予算 1億1,361万2千円追加

(主なもの)

- ふるさと基金積立金…………… 2,500万円
- ふるさと寄附対策費（寄附お礼品、発送・代行業務委託料等）…………… 1,671万5千円
- 予防接種事業費…………… 218万円
- 河川改修費…………… 5,780万円
- 災害復旧費…………… 825万4千円

第 12 回会議

2月18日(木)

補正予算 2億5,031万4千円追加

(主なもの)

- 生活応援給付金給付事業費…………… 9,383万9千円
- 道路維持費…………… 5,970万1千円
- 災害復旧費（農地等・林業施設）…………… 8,317万2千円

第 13 回会議

3月定例 3月9日(火)～19日(金)

補正予算 2億9,969万8千円減額

(主なもの)

- 児童福祉総務費…………… ▲1億421万5千円
- 児童手当事業費…………… ▲1,785万5千円
- 環境保全費…………… ▲6,785万7千円
- 農業振興費…………… ▲3,421万2千円

補正予算 770万1千円追加

(主なもの)

- 老人福祉費（地域介護・福祉空間整備事業費補助金）…………… 770万1千円

令和2年度第 11 回会議 表決一覧表（抜粋）

議案・発議名	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小畠	溝口	森岡
あさぎり町町費負担教職員の採用等に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町学校給食費条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町町費負担教職員の採用等に関する条例に対する付帯決議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年度第 12 回会議 表決一覧表（抜粋）

議案・発議名	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小畠	溝口	森岡
あさぎり町課設置条例等の一部を改正する条例の制定について		×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○
あさぎり町ふれあい福祉センターの指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年度第 13 回会議 表決一覧表（抜粋）

議案・発議名	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小畠	溝口	森岡
あさぎり町災害見舞金支給条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度あさぎり町一般会計予算について		×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×
令和3年度あさぎり町一般会計予算案に対する修正案		○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
あさぎり町教育委員の任命同意について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

条例の制定および改正

- 議案第 74 号** あさぎり町税条例の一部を改正する条例の制定について
(国営川辺川総合土地改良事業に係る負担金等を徴収するため)
- 議案第 75 号** あさぎり町災害見舞金支給条例の全部を改正する条例の制定について
(町民が災害により被害を受けた時災害見舞金を支給することにより町民の福祉の増進に資することを目的)
- 議案第 76 号** あさぎり町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
(令和 3 年度から 5 年度までの 3 ヶ年における介護保険料率を改正)
(保険料基準額 月額 6,500 円を 5,900 円に減)
- 議案第 77 号** あさぎり町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
(介護保険法及び老人福祉法の規定に基づく指定居宅サービス等の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令に伴う改正)
- 議案第 78 号** あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
(新型インフルエンザ等対策特別措置法一部改正による)
- 議案第 79 号** あさぎり町道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(道路構造令の一部改正により)

教育委員会委員の 任命同意



椎葉 直美さん (深田)

現委員の任期満了に伴い任命することに同意した。

農業委員会委員の 任命同意

現委員の任期満了に伴い、26 名の農業委員を任命することに同意した。



永年在职議会議員 表彰



溝口峰男議員が、町村議会議員として 30 年以上在职し、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により熊本県町村議会議長会より表彰された。

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問します。

※一般質問の文章については、質問者の責任においてそのまま記載とします。

一般質問



小見田 和行 議員
Komita Kazuyuki

水道事業施設再整備事業と

経営戦略策定は

問

岡原地区の送水ポンプ場築造工事、送水管布設工事計画が示された。計画によれば令和11年まで工事が予定されている。岡原第1水源は、硬度（カルシウム、マグネシウムが多い）が高く、加熱すれば固まる性質があり、7月豪雨災害で水源の機器も被災し、一時硬度が上がり、その水を通したエコキュート等に故障が発生した。現時点（3月16日）での

被害は52件、被害額は940万円となっている。計画を前倒しした再整備事業が望まれるが。

町長

現在の計画では、須恵地区と岡原地区に免田水源地から第1、第2配水場に水をポンプで送って自然流下で各家庭に排水する計画を立てている。計画を前倒しする必要がある。今担当の方でも県と協議を重ねているので見通しがついたら説明をしたい。

問

岡原第1水源は、硬度を下げるために軟水化装置に交換塩（1年間に330万必要）を用いて軟水化している。他の水源と比較してコストが高くなっている。また、硬度の数値が安定化しなかった事による目詰まり等の苦情もかねてから寄せられている。新しい水源に取り替えるまでの対応は。

町長

軟水化装置の管理は専門業者へ委託する方向で検討している。交換塩を含む経費は当分の間は支出していくべきと考えている。

問

現在の水源に関する起債の償還、耐用年数との関連から現実的に前倒着工は可能なのか。

上下水道課長

県に確認したところ整備自体は可能である。ただ、財政計画を精査しながら進める必要があると思っている。

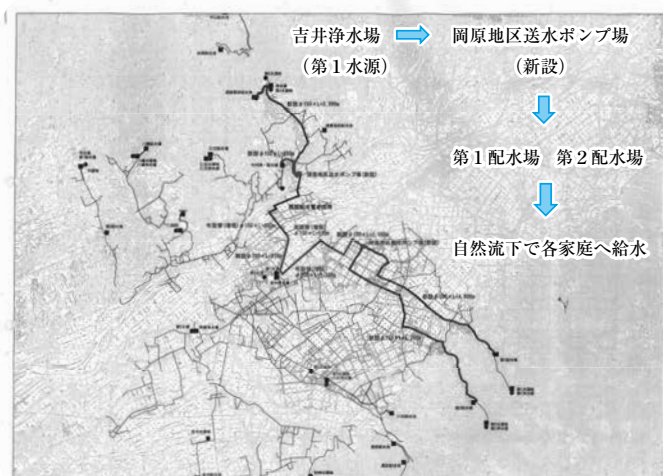
ふるさと振興社と農業支援センターを統合した「地域商社あさぎり財団」設立準備は

問

人口減少、少子高齢化への対応策としての新たな取り組みであり、デジタル技術を活用した地域産業振興策は斬新であり期待する。しかし、農村の持続的維持発展には、草刈り、溝さらい、条件不利地の管理

町長

競争は避ける。しかし、それらの組織の担い手も高齢化しつつあり、それを補充する「あさぎり財団」でありたい。



水道事業再整備計画

一般質問11人が登壇

行政区の統合と

公民分館建設は



公民分館と消防詰所の複合施設に
改築予定の石坂区公民分館



溝口 峰男 議員
Mizoguchi Mineo

問 後、公民分館建設は今
を踏まえ広域的な一時避
難所として共同利用・共
同使用する事の方針が示
されたが、区の統合はこ

れまでの経緯を見ても一
朝一夕にはできない。区
の統合は区民の協力と
理解がなければできない
が、行政には区の統合が
自主的に進むような環境
づくりが求められる。区
の再編成をどのように進
めるのか。

町長 須恵、深田は合併
前に統合しており

合併後は上地区で上西・
下西が統合した。これか
らは上地区・岡原・免田
も含めて統合の議論をさ
せていただきたい。消防
団の部の統合も重ね合わ
せながら「町づくり審議
会」等の意見も聞きなが
らプランを作成し区長会
にも相談したい。時間を
かけるとこの問題は空中
分解する可能性があるの
で、時間をかけないで慎
重に進めていきたい。

問 世帯数が多くなれ
ば地域のコミュニ
ケーションが取りづら

などのマイナス面も出て
くる。そのようなマイナ
ス面の対応策も検討する
べきでは。

町長 これから行う「あ
さぎり財団」「特定

地域づくり事業協同組
合」や「地域おこし協力
隊」等の若い人たちに地
域のコミュニティの中
心となってもらえればと
考えている。また、小地
域ネットワーク事業を52
地区に広げていただき地
域づくり、支え合いに動
いていただくような人材
を波及効果出来ればと
思っている。

特定地域づくり事業協 同組合の設立は

問 (有)ふるさと振興社
と(一社)農業支

援センターを統合した
「一般財団法人あさぎり
地域づくり推進機構」を
設立し懸案となっている
担い手不足や若者を安定
的に雇用できる受け皿づ
くりとして、「特定地域
づくり事業協同組合」の
設立は、今後のあさぎり
町の将来に非常に重要な
役割を果たすと考えるが

具体的な取り組みは。

町長 あさぎり町は素晴
らしい歴史と伝統

と技術、そして人材が育
ち息づいている。その中
にあって、団塊の世代を
中心とした66歳から75歳
までの人達が現役とし
て頑張っておられる。
やはり高齢化で仕事が
継続できない方も少しづ
つ増えてきているし後を
任せることが出来ていな
い状況。若い人たちのい
かにしたらあさぎり町に
集まっていたただけるか考

え「特定地域づくり事業
協同組合」(人材派遣事
業)の組織を作る事とし
た。一朝一夕にはできな
いが色々な方の知恵を結
集して総力を挙げて取り
組みたい。

その他質問事項

- ・人材の活用について
- ・結婚・出産・子育て応
援について



(一社) 農業支援センターと統合される (有) ふるさと振興社



加賀山 瑞津子 議員
Kagayama Mitsuko



学生応援基金の設置を

問

大学等へ進学した学生への支援が大きな課題となっている。親御さんから遠方での生活がとて心配だという声をよく耳にするが。

町長

昨年は町の特産品を送る学生応援プロジェクト事業を行った。令和3年度は国の3次補正の臨時交付金を使って何らかの支援をしたい。若者が学び、経験していくことは大事。いろんな支援、人材育成の方法に取り組みたい。

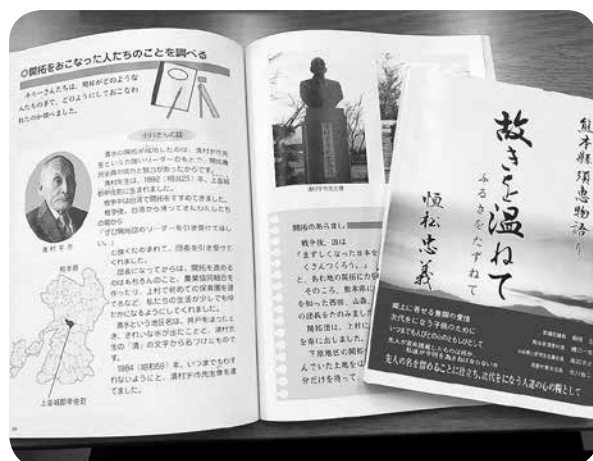
先人の偉業検証と 伝承への取り組みは

問

先人の偉業を掘り起こし次世代に伝承することは重要。須恵地区の西郊之平翁や長野文治（長野蘇南）先生など歴史に埋もれてしまった偉人が各地区におられると思うが。

町長

エンブリー博士については、須恵文化ホールの改修後に講演会や展示会等考えている。町の基本計画にも文化遺産や事業に対して評価を行うとある。偉人の足跡



「須恵物語 故きを温ねて」(右)と「旧上小 社会科副読本」(左)

や偉業を今後どのように町の活性化に活用していくか等検討し取り組んでいきたい。

教員

小学4年生の社会科や道徳教育用郷土資料「熊本のこころ」で先人の業績等について学んでいる。

問

旧上村清水地区開拓の父 清村宇市団長や郷土史家 高田素次先生など、まだたくさんの方々がおられる。ふるさと基金を活用しての偉人の掘り起こしを。

町長

「故きを温ねて」という事で、もう1回整理できないか、教育長と協議していく。

学校教育の今後の展開は

問

須恵小複式学級の問題は、今後も出てくるのが想定されるが町の基本的な考えは。

町長

今後各地区でも学校の統合ということも協議されるようになってくる。小学校については地域のコミュニケーションの場、その地域が育ん



ハタチ基金年齢別のさまざまな取り組み

問

学校規模適正化審議会とは別に若い人（就学前の子育て世代の人や中・高校生等）の声を拾いあげる場を作ってみては。

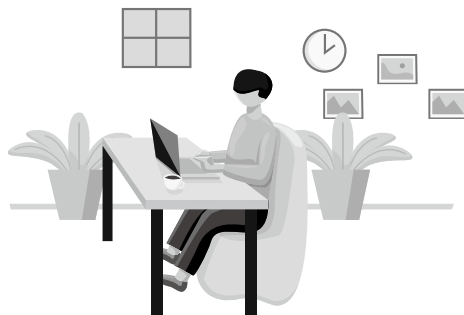
町長

幹部会、幹事会のような二段での有識者会議はおもしろい発想だと思う。教育委員会との会議でも話をしたいと思う。



橋本 誠
Hashimoto Makoto
議員

コワーキング スペースとして 予定は



問 なぜコワーキングスペースなのか。

町長 今パソコンがあればどこでも仕事ができる時代になってきた。役場や、各事業所に営業であさぎり町に来た人たちが町民と交流し、町の風景（田園風景、白髪岳や高山等の山）を見、町の特産品等、町のことを知ってもらうためにコワーキングスペースをぜひ取り組みたい。特定地域づくり事業協同組合で担い手を雇用しながら、町に来てまず落ちつく場所として活用してきたい。

問 施設個別計画に入っているのか。

町長 現段階では、施設個別計画に入っていない。

問 どのような目的で活用するか。

町長 コワーキングスペースにWiFi環境があつて、町民との交流の場として2階は使いたい。1階は事務所兼小さい会議室、ビジネスの仕事場として活用する。商

工会の建物なので、ビジネス的には使いやすい建物。1番は町有地で、広い駐車場もあり、活用しながらそこを町の人たちとよそから来る人たちの交流をはかり、いろんなアイデアが出て、生まれて、いろんな商談がまとまっていけばいいなと思っている。

問 維持管理費の予算はその財源は。

町長 公共施設利活用審議会に諮問し予算を伴うなら議会の承認も要り、長く使っていないので、内装と空調は整備しないと使えない。運営費は、企業版ふるさと納税の資金で運営。寄附金とかを活用しながら運営したい。

インターネットの 環境整備は

問 インターネットの環境に、農業IT化、テレワーク等、今後デジタル化を進めると言われるが、今のあさぎり光で対応できているのか。

町長 あさぎり光は、インターネット環境が遅いと町民からの意見が多数出ている。近いうちに実証試験を行う。イクストライドとタイアップして今回アンケート調査を実施する。10年が経過し、更新時期を迎えている。公設民営では維持管理費と災害が発生した時の災害復旧費用は町の負担。民設民営は、維持管理費も災害復旧費も企業負担。民設民営に移行していく。国の方針は公設民営から民設民営に向けて進んでいる。

問 将来見据えて財源負担が少ない民設民営にすべきだ。今後、説明をした上で、タイムスケジュール等が決つたら、町民、議会にも説明し、やっていただきたい。

町長 これから取り組んでいくいろんなデジタル化、コワーキングスペースで進めるにはネット環境は大事。町民の皆さんたちの理解度と普及率と足並みをそろえながらデジタル化に取り組んでいきたい。

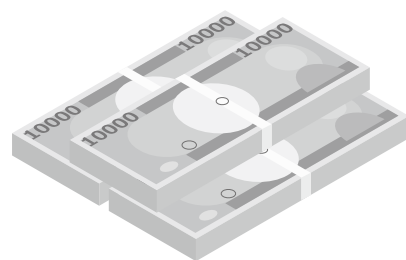


* コワーキングスペースとは *

コワーキングスペースとは、シェアオフィスやレンタルオフィスとは異なり、仕事を行う場所が個室ではなく図書館のようなオープンスペースとなっている。



岩本 恭典 議員
Iwamoto Yasunori



3次補正予算の地方創生臨時

交付金の具体的な支援策は

問

第3次補正予算で3回目の地方創生臨時交付金の決定を行ったが、あさぎり町の配分と支援策、令和3年度に向けた町長が考える支援策は。

課財企 長政画

配分額については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、3,418万7,000円、ポストコロナに向けた経済構造の転換好循環の実現として1億5,761万6,000円、合計1億9,

134万8,000円。第3次の配分額のうち

本省繰越分として町の令和3年度予算で執行する予定は、1億5,432万6,000円である。

町長

年度内の使い方として、新年度生活応援券で1億1,000万程度の金額で準備を進めている。それと議会で今提案している商工業経営支援補助金制度。令和3・4年度に向けて、商工業に業種転換、農業に新た

問

生活応援券を出して住民の生活を応援するということ、町民の方々に喜ばれている。コロナが収まってない中、昨年同様8月と12月に再び生活応援券を出す予定があるのか。

町長

3回の生活応援券は、補正に伴う臨時交付金を資金源としている。令和3年度の1次補正で臨時交付金が交付されることがあれば、検討していきたい。

問

臨時交付金が交付されない場合、あるいは金額が不足した場合、基金を取り崩す考えはないのか。

町長

臨時交付金という財源があってスムーズ

問

2019年度の財政調整基金の決算額は56億3,700万ということ、そのうちコロナ対策に限定した取崩額と、2020年度の財政調整基金の見込み額は。

にやってきたが、非常時のために積み立てていた基金なので、町民の皆様の生活が苦しいかどうか判断しながら提案させていただく。

課財企 長政画

昨年の財政調整基金の残額が56億3,600万、コロナ対策で第1回補正5,300万円を取り崩している。最終的に本年度の財政調整基金へ3億5,300万ほど積み立てて、見込みで56億3,700万になる予定である。

その他質問事項

地域商社「あさぎり財団」について



手を洗うモン
#WashHands



くっつかないモン
#KeepDistance



換気をするモン
#OpenWindow

©2019 熊本県くまモン



豊永 喜一 議員
Toyonaga Kiyochi

新型コロナワクチン 接種体制等は

問 新型コロナウイルスの感染者が熊本県で初めて確認されてから1年が経過した。感染者が約3,500人に上

り、30代以下が半数を占める。死亡者は72人（2月20日現在）、70代以上が66人と9割を超えている。感染者は、飲食店の営業時間短縮や県外の出自粛が奏功し、年末年始をピークに減少しているが、いまだ収束を見通せていない。その様

中、流行収束の切り札として医療従事者からワクチンの先行接種が開始された。国家のプロジェクト事業であるが、市町村では接種に関する体制整備や予算化が進められている。ワクチンの効果や期待が高まる中で不安も伴う。接種体制の準備状況と課題等は。

健康推進課長 接種体制の整備については、町内の医療機関、公立多良木病院の先生方の意見を伺いながら接種体制を整えている状況。接種については、集団接種と個別接種

があるが、町では集団接種で行い、須恵文化ホールで計画している。

問 人員体制の整備について町長の考えは。

町長 準備段階の会議に今2回程出席している

が、医療関係の方々と行政の連携はうまくいっている。

問 65歳以上から接種が始まるが、希望調査の結果と交通手段の方法は。

健康推進課長 希望調査は64歳以上の高齢者に対しており、対象者数が5,927

人、接種希望者が5,263人で88・8%という

状況。接種を希望しない人が196人、33%となっており、未提出が468人いるので現在確認中。交通手段については、ワクチン接種が1日当たり300人程度で行いたいと考えてお

り、地区毎に近隣集落を合わせて300人程度になる位にして、交通手段がない人は、シャトルバスを各々の地区に運行、送迎を行うよう計画をしている。

問 ワクチン接種が大体終わるのはいつ頃に想定しているのか。

健康推進課長 順調にワクチンが供給される状態で9月中には全て完了する見込み。

その他質問事項

地域商社「あさぎり財団」について

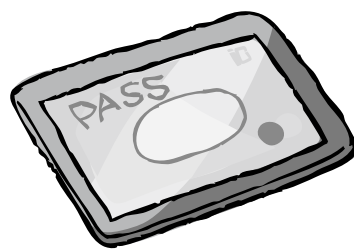


ワクチン接種シミュレーション





皆越 てる子 議員
Minagoshi Teruko



令和2年7月豪雨に係る「くま川鉄道」の 完全復旧に向けての取り組みは

問

くま川鉄道については、鉄道としての復旧を目指すことを決定し、くま川鉄道再生協議会が設立し全線復旧に向け、事務局もあさぎり町の生涯学習センターに設置されている。くま川鉄道代替バス運行や部分運行について、高校生の保護者等から不安の声が上がっているようだ。代替バス運行はくま川鉄道が全線開通するまでの歳月5、6年の年月が必要とも聞くが継続運行されていくのかどうか。

町長

くま川鉄道が不通となり、高校生始め郡民の皆様方には大変迷惑をおかけしているが、高校生たちが励ましのメッセージをあさぎり駅に掲示し、なかへ復興に向け球磨郡市の心が一つとなったような気持ちがある。

課長

被災後直後から被災地域鉄道路線代替輸送事業を活用されて国が3分の1の補助、残りを熊本県が補てんしていたが、今年1月4日よりスキームが変更され、地域

公共交通確保維持事業、地域内リーダーシステム補助という名称になり、国の支援が2分の1、残りを地域交通事業から補助。町の負担ない。部分運行も引き続き行っていく計画。

問

定期券・回数券での乗車となっているが、1日限りの乗車券が欲しいという声もあるが。

課長

乗車券のほうは、くま川鉄道の方にも確認する。

問

本年度中学校の卒業生で郡市外の高校進学は何名か。

教員

町では昨年度よりも10名多い26名で郡市では106名となっている。

問

くま川鉄道の災害による影響はないか。

教員

影響はないものと考えられる。自らの進路選択に沿って高校を選



くま川鉄道による代替輸送バス

択したという風に捉えている。

問

定期券の助成金とあわせて以前の会議内容でこども医療費の助成も高校生まで延長してほしいという意見もあったようだ。同じテーブルに載せて検討できないか。

町長

両方を検討してみたと思う。

問

部分運行等の町村負担割合は。

課長

部分運行と復旧についての金額等は提示はまだあっていない。

その他質問事項

区の統合計画の推進と合同で使用する公民館の建設の協議について



難波 文美 議員
Nanba Ayami

住民への流域治水 対策の周知は



住民の不安はいつ解消されるのか
ゲリラ豪雨が引き起こす内水被害

問 昨年7月の内水被害を受けて、様々な治水対策が検討され、緊急に実施されている箇所もあるが、農業用排水路は8ヶ月経過してもなお手付かずの所もある。農業用の位置づけであって

も堤防を兼ねた町道があり、迫り来る次の出水期に地域住民は不安を抱えている。早急に復旧、強化するよう具体的な調査対策プランを示す必要があるのではないか。

町長 農林水産省の管轄であるが、河川の考え

で流域治水に入れてもらうような機会あるごとに国県に対策をお願いしており、4月末の報告を聞いて対応する。

**デジタル化整備で住民が
得られる有益性は**

問 保険証として使えるマイナンバーカード

は住民にとって一番身近なデジタル化の有益性だと思われる。最大5,000円分のマイナポイント獲得のための周知については。

町長 マイナンバーカードを取得してから24時間以降にポイントが付与される事や決済カードが必要である事を窓口での受け取り時に説明している。

問 インターネット環境が充実すること

により早く、より多くの住民に情報が届く。町ではこれからSNSを活用して情報発信する計画があり、全国1,788自治体のうち50%がYouTube配信を活用している。議会中継も大事な情報のひとつである。高齢者やパソコン機器を操作できない住民でもネット対応テレビがあれば手軽に視聴できる。現在の会議録システムにかかっている毎年200万円程度の経常的経費の解消は議会運営と住民双方の有益性につながるのでは。

町長 現在、任意のデジタル班をつくり勉強会を実施しているので早速検討する。

**町民の健康を守る環境
整備は**

問 健康運動教室と脳いきいき教室の今後の具体的な計画は。

町長 1期生として健康運動を始めた方が目標を持って継続的にスポーツを習慣化できるように、タニタや筑波ウェルネスリサーチのデータを活用する。またヘルシーランド内にある社協の空きスペースにエアロバイクを導入するなど拠点作りと環境整備を始めている。令和3年度は、2回の脳いきいき教室を予定。30名を募集し、月4回週1回のペースで計12回の内容で行う計画。



健康ポイントをためて『あさぎり町健幸お買い物券』に交換しましょう！

問 運動も脳活も健康維持の取り組みに効果的である。健幸ポイントのように、足を運んで議会傍聴をした住民にもポイント制を考えられないか。

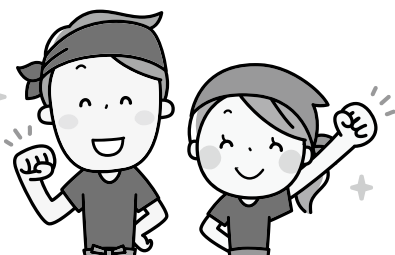
町長 傍聴の際には住所・氏名を記入するようになっているため議会事務局の考えも聞き検討する。

その他質問事項

・住民共助による地域づくり活動について
・時代にマッチした適正な学校教育の展開について



永井 英治 議員
Nagai Eiji



行財政改革の取り組みは

問

行財政改革プランには「住民の視点」

「選択と集中」「経営感覚の導入」という、3つの基本方針が掲げられている。「住民の視点」では、昨年からのコロナ禍での商工業や農業の経営の悪化に対して、各担当課で素早い対応をして頂いた。また、「経営感覚の導入」については、「公共施設マネジメント調査特別委員会」において、財政担当職員から財政について詳しい説明を受け、しっかりとした感覚を持っている印象を受けているが、特に「選択と集中」と

いう視点での、町長の基本的な考えは。

町長

現在、コロナ禍で商工業や飲食業他、町民の皆さんにも収入減や色々な影響を受けておられる。行財政改革の中において町の限られた財源の中で、町民の皆さんの経済的支援、生活の支援をしっかりとやらなければならぬと思う。また、高齢化や担い手不足という大きな問題にも、町の経営目標をしっかりと立てた上で持続可能な街にしていくために、そして町民の皆さん

んの生業と生活を守っていくために、どのような街の運営をしていくのかしっかりと考えていると思う。

問

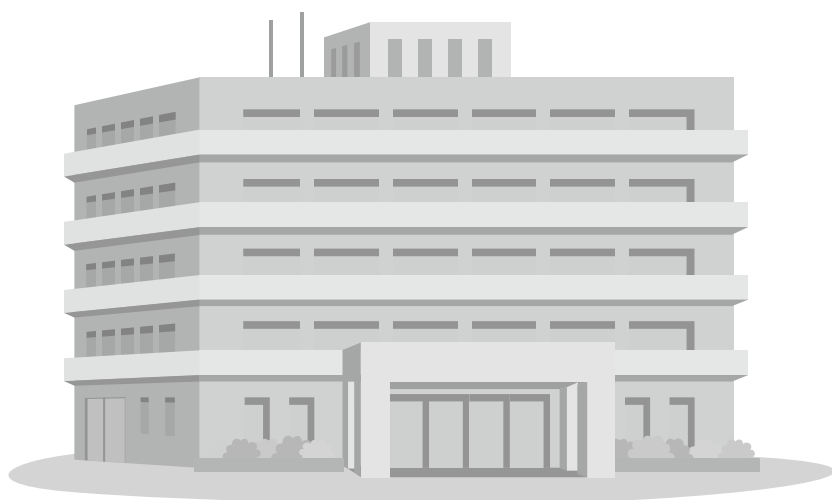
第4次行財政改革プランの策定に向けての基本的な考えは。

町長

これまでの第3次行財政改革を踏襲しながら、改革すべきところは改革し財源の見える化を図っていきたい。また、住民のニーズを捉えながら、併せて災害に対する備えにも力を入れていきたい。

課財企画

第4次行財政改革の課題は、歳入では「合併特例債」の発行期限を迎える事で財源が減少し、基金の取り崩しによって基金残高が減少することが見込まれる。歳出面では、高齢化の進展、あるいは医療の高度化等により扶助費の増加が見込まれる。それから、合併特例債の発行期



限までに公共施設の除却等の経費の一次的増加が見込まれる。これらに対応するために、一つ目にはデジタル化の推進によって住民サービスの向上と業務の効率化を目指したい。2つ目が、公共施設マネジメントの着実な実行によって、更新費用や

運営コストの削減、場合によっては売却の促進によって効果を上げて行く事を根幹に策定を行っている。

その他質問事項

農業支援センターについて

区の統合計画の推進と、 合同で使用する公民分 館の建設は



小出 高明
Koide Takaki
議員

問 上地区19行政区ある中で、10地区だけが今回の対象で、公民分館建設を災害時の避難所として大きな建物をつ

くり、負担金を少なくする考え。議会に説明する前に話がどんどん進んでいく状態を、町長の考えは。

町長 行政の考え方を区に押しつけようという

ような考えはない。住民の視線でやっていきたいと思うので皆さんの意見を聞きながら取りまとめていきたい。

問 上地区は、いつかは統合しなければなら



ないと誰でも考えている。

デリケートな面もある中で、今回のような10地区対象ではなく、19地区、町長の地区も含めた所で、全体の中でもう一度考え直して取り組むべくではないか。これから10年先を見越した戸数の配分、消防団、いろんな組織を考慮した上で、もっと時間をかけて不公平感のない統合に持っていくべきでは。現在計画中の大きな公民分館を作るた

めの統合ではなく、公民分館は公民分館、地区統合は地区統合として考える方がいいのでは。

町長 あまり時間をかけているとスピード感が

がないと言われる事もある。まさしく今、機が熟しているの、この時期にまとめていく様な動きをしていくのがトップの務めではないか。

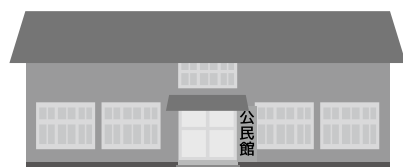
産業活性化プランの 中小企業診断は

問 町の農業の課題を知

る意味で、30人に絞り1人当たり50万円の経営診断料として、令和3年、4年まで合計4,500万円になるが、本当に価値のある事業なのか。例えば他の取り組みとして、問題を解決するためにJAの青色申告会。この代行料は年間3万6,000円で済む。また3年間の申告書を基に

経営診断ができる。他に中央会では農業経営診断、この診断料は無料となっている。他にくまもと経営塾、熊本農業経営相談所、これも無料。だから年間1,500万円も出して農業経営分析を3年も継続して行う必要はないと思うが。

町長 今回の令和2年度の予算を使ってやったのはあくまでも調査委託。診断士の人たちに農家さんを診断していただいて、どういう傾向なのか、経営というものをもう1回見直す必要があると考えお願いした。





小谷 節雄 議員
Kotani Setsuo



町施策等の決定・実施までの

基本姿勢とプロセスは

問

町施策決定までの適正な手順の確保や計画性・継続性など共に、その過程についての説明責任も重要であり、そのことは本町の議会基本条例でも明確に定められているが、町の貴重な財産ともいえる職員の知見を幅広く活用する意味からも必要となる庁内会議等の記録保存の状況は。

総務課長

庁内会議の会議録等の作成は現在行っていない。要点録として記録し保管している。

問

公民分館整備事業については、防災面での機能強化などを含めての制度変更を検討されているようだが、きちんとした議論の上で制度設計を行い、適正に順を追った取り組みをすべきではないか。なし崩しの対応は行政としてのあるべき姿ではないと考えるが。

町長

ないがしろにならないように、きちんとした手順を踏んで条例等の見直しなど必要なことをやっていきたい。

問

町長は常々「財政は大事だが、事業を進めながら今後検討・精査をする。」と言われているが、財政見通しの裏づけがあつての事業計画であり、その策定手順や各種実施計画と財政計画の整合性をきちんと確保するべきでは。

町長

財政については言われるとおりで、財政的な見通しをしっかりとしながら実施計画を実行していかなければならない。

問

議会において公共施設個別管理計画の特別委員会が設置され、審議中で結論が出ていないにもかかわらず、計画内容が当初予算案に計上されているが、二元代表制である議会と町の関係についての認識は。

町長

特別委員会で検討中の事業は議案ではないので審議中とは呼べない。採決の必要もないと判断している。

問

議会として重大な関心を持つて設置した特別委員会での意思決定がまだ済んでいない現時点では、未確定である個別計画についての予算措置は再考されるべきでは。

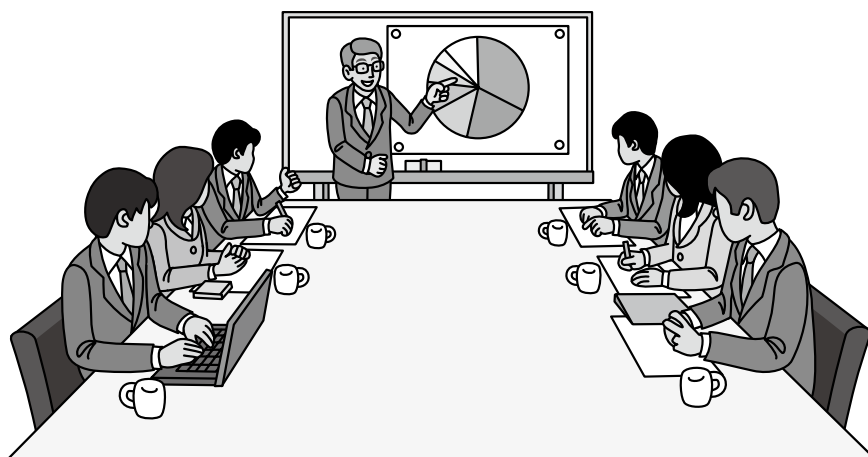
町長

特別委員会の最終的な結論が出てないの

は認識しているが、個々の事業については、粛々と執行していきたいと考えている。

その他質問事項

- ・ 地方交付税制度について
- ・ 流域治水について



常任委員会報告

総務建設経済常任委員会

〇1月26日（火）

- ①役場組織再編について
- ②一般会計補正予算（第16号）について
- ③令和3年度上下水道課主要事業について
- ④岡原第1浄水場災害復旧状況について
- ⑤その他2件

〇2月9日（火）

- ①一般会計補正予算（第17号）について
 - ②岡原地区水道施設災害復旧に伴う諸課題について
- 委員からは、早急に住民の皆さんに対して説明会を開催してほしいなどの意見があった。

（委員会付託案件審査）

- ①要望書の取扱いについて
 - ・要望書「令和2年7月豪雨に伴う農地災害復旧支援について」
 - ・要望書「令和2年7月豪雨に伴う百太郎溝幹線水路土砂浚渫に対する支援について」
 - ・要望書「あさぎり町清水地区排水溝拡張による防災対策について」

〇2月22日（月）

- ①行政区再編への取組について
- ②令和2年度一般会計補正予算（第18号）について
- ③農業委員候補者選定に関する経過報告について
- ④あさぎり町国営川辺川総合土地改良事業負担金徴収条例の制定について
- 他4件

（委員会付託案件審査）

- ①要望書の取扱いについて
 - ・要望書「あさぎり町清水地区の排水溝拡張による防災対策について」

2土地改良区から提出された要望書「令和2年7月豪雨に伴う農地等災害復旧支援について」及び「令和2年7月豪雨に伴う百太郎溝幹線水路土砂浚渫に対する支援について」は、執行部で予算化されており審議未了とした。

「あさぎり町飲食業有志」から提出された要望書については継続

審査とした。

「あさぎり町清水地区の排水溝拡張による防災対策について」は、近年の自然環境や農業経営に合わせて排水路の造成等の早急な改善対策が必要であると判断し、採択とした。



清水地区要望の現地調査



令和2年7月豪雨災害現地調査（永里地区）

厚生文教常任委員会

○12月10日（木）

①旧深田保健センター解体工事について

解体工事中にアスベストが新たに発見され、1,075万円の追加工事が発生した。

委員会としては、解体工事設計時にアスベストの存在確認を設計図書等を用いて精度を上げることはできないか等の意見が出た。

②須恵小学校複式学級の対応について

平成27年制定のあさぎり町町費負担教職員の採用等に関する条例（令和2年3月31日失効）の意義と該当保護者、住民に対する町、教育委員会の説明・対応について議論が交わされる。保護者への丁寧な説明を求める。

③その他

「心の健康調査アンケート」については、被災者の心情に配慮した内容にしてほしかったとの意見が出た。

○12月16日（水）

①学校給食費条例等の改正について
給食費の徴収・管理業務が教

職員から役場に移り、先生方の負担が軽減される効果が期待される。

委員会から、地産地消・地元業者を優先するように協議してほしい。給食運営審議会ではPTA・保護者の声を反映されるものであってほしい。委託会社が替わっても給食センターで働く方々に不利益が被らないよう配慮してもらいたい等の意見が出た。



○1月20日（水）

①新型コロナウイルス感染症対策ワクチン接種に係る補正予算について

ワクチン接種による効果、副反応等多様な質問が出た。

②ふれあい福祉センターの指定管理について

新しくスタートする施設の指定管理なので社会福祉協議会にも新しい発想で臨んでほしいとの要望が出た。

③あさぎり町町費負担教職員の採用等に関する条例の制定について
須恵小学校複式学級回避に向けた令和3年度1年間限りの条例が可決された。委員会では、一年間で保護者に対して複式学級に対する理解を求める期間として十分なのか等の意見が出た。教育課からは来年度以降の方針は白紙の状態であるが、学校規模等適正審議会で審議頂いたご意見を参考に方向づけると答えた。

○2月12日（金）

①令和2年度一般会計補正予算（第17号）抜粋

旧深田保健センター解体に伴うアスベスト処理2回目の補正予算について

当初予算の1.7倍になるが契約としてあるべき姿ではないとの意見に担当課は、来年度以

降は国の基準として事前調査が義務付けられるので、今後は、このような事は少なからず解決されると答弁。

②寺池公民分館新築工事補助金の増額補正（50万2千円）について

委員から豪雨災害後の大工賃金等の値上がり率は調査してあるのか等の質問が出た。

③ヘルシーランドデイサービスペース等の利活用について

デイサービスペースは「健康教室」の開催により住民の健康づくり、体力づくりの拠点、保健センターは住民交流の場として活用予定。

○2月24日（水）

①あさぎり町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

基準介護保険料額7万8千円から7万8百円に下がるがまた上がる事も予想される。

策定委員会での議論はされたかとの委員からの問いに、担当課は、同様の心配がなされたが、介護予防策が功を奏したのも一因であり、今後とも極端に上がらないように施策を進めていくと答えた。

一部事務組合報告



上球磨消防組合議会

○2月24日(木)

令和2年第5回臨時会が開催され、山崎信治監査委員を選任することに同意した。



公立多良木病院企業団議会

○2月19日(金)

令和3年度第1回定例会が開催され、令和2年度補正予算は、構成町村の負担金変更と新型コロナウイルス補助金、職員数や利用者への減少に伴う減額補正で総額2,902万円。令和3年度の予算は収益総額45億3,574万4千円、費用総額44億8,780万7千円で純利益を見込んだ予算となり原案どおり可決決定された。

(令和3年度予算でのあさぎり町の負担金)

※病院事業・シルバーエイト・健診センターコスモ

6,755万2千円
※病児・病後児保育特別会計
240万6,460円



人吉球磨広域行政組合議会

○2月26日(金)

令和3年度第1回会議が開催された。

・人吉球磨広域行政組合人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計条例を廃止する条例の制定については、採択。

○3月25日(木)

・令和3年度人吉球磨広域行政組合一般会計予算の総額は16億4,256万9千円。

・あさぎり町の負担金は総額14億3,289万9千円の内1億9,563万3千円。

・令和2年度一般会計補正予算、一般会計経費の負担金の総額補正についても原案どおり可決決定された。

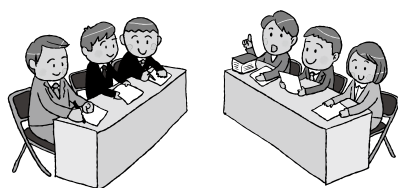


熊本県後期高齢者医療広域連合議会

○2月10日(水)

熊本県市町村自治会館において開催され議案第1から議案第8号までの8議案及び一般質問が行われた。令和3年度の後期高齢者医療広域連合一般会計の歳入歳出予算の総額は、それぞれ2億5,743万1千円、前年比408万4千円の減。後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、それぞれ2,928億88万8千円、前年度比56億325万3千円の増、増加の理由は一人当たりの医療費の増加によるもの。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業の取り組み市町村増加によるもの。マイナンバーカード取得促進に係る郵便料の増加によるものが主な原因となっている。令和4年度後半から年収200万円以上の人の医療費窓口負担が1割から2割に引き上げられる。

派遣費用など。両議案とも原案通り可決した。庁舎建設は訓練棟及び外構工事は完成となり、県の検査が12日に行われた。



／聞かせて／

町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

気軽に声を掛け合える明日へ

今年は、春がいつもより早い様です。わらびや茶の新芽が10日程も早いのです。皆様に親しんで戴いた「遠山桜」の二世木も五分咲となりました。さて、コロナ禍で町の主催事業が軒並み中止となった昨年、これからワクチン接種が始まるとは言え、先の見えないトンネルの感があります。私たちの傍まで忍び寄っているのかもしれません。しかし、私たちにも困難を不難に変える知恵と工夫があります。町長が自己予防を行いながらあさぎり町に再び元気と活気を呼び興す仕組みを議会と行政で創り出して下さい。町民がどこで逢っても気軽に声を掛け合える様な日常を早く取り戻したいと願っています。



須恵地区(阿蘇)

遠山 好勝さん



免田地区(永才)

星原 鮎美さん

コロナ禍の中で

桜が満開に咲く頃、長女が小学校を卒業しました。

昨年は新型コロナウイルスの流行により、学校が長期の休みに入り、運動会も延期となり6年生の一大イベントでもある修学旅行も中止！楽しみにしていた子どももガッカリしていましたが、先日子どもたちがクラスで計画・実行してくれた親子思い出作りを行う事が出来ました。成長していくにつれ、なかなか触れ合う機会も少なくなってしまうのですが、今回のイベントでみんなの笑顔がとても眩しく生き生きとしていて、今のこの環境になったからこそ味わえた幸せなのかなと感じました。

あさぎり町は児童手当や医療費助成など子育て世帯にやさしい町だと思います。より良い町になる事を心より願っております。



このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



■表紙の写真について

ふれあい福祉センター
(キッズスペース)

編集後記

先日、日本中を沸かせる話題がありました。ゴルフの松山英樹選手が、マスターズで日本人初の優勝。コロナ禍や自然災害等で何かと明るい話題が少ない中にも、スポーツは人の心を明るくしてくれま。あさぎり町でも、スポーツとまではいかなくても、体を動かすことで「健幸」の町を目指しています。人命や経済、またはスポーツや様々なイベントまでもがコロナの影響を受けている今日、一日も早く平穏な日々が戻り「健幸」な町になりますよう心から願っています。

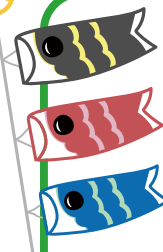
(永井 英治)

編集・発行責任者

議長 徳永 正道

広報調査特別委員会

委員長 岩本 恭典
副委員長 皆越 てる子
委員 永井 英治
豊永 喜一
橋本 誠
小谷 節雄



★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。

議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。